

和歌山県

和歌山県教友会(和歌山県退職校園長会)

結成 昭和40年10月10日

祝 全国連合退職校長会設立60周年に寄せて ～活動の更なる深化を願って～

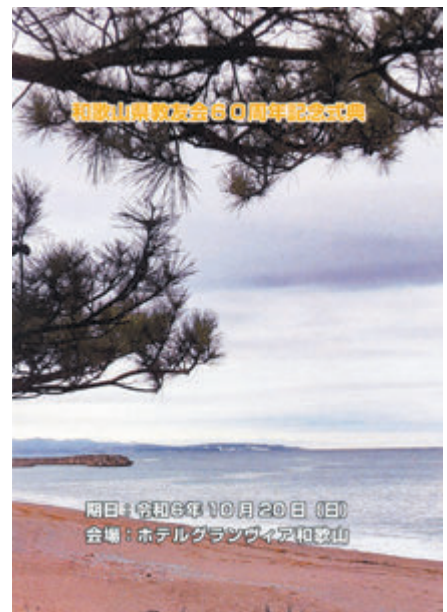
1 本会の歩み

令和6年10月20日に創立60周年を迎えた本会は、昭和40年「戦後20年、いまなお混迷する県下教育界に、中正健全な教育世論を喚起し、教育の充実伸長を図るとともに、会員相互の福祉の増進と研修ならびに親睦を図ることを目的」(結成趣意書より抜粋)として結成された。183名での発足であった。

2 活動の足跡

発足当初から支部組織の充実と強化を図るとともに様々な活動や運動を積極的に進めてきた。会誌「教友」を年に3回発行して教友会の活動・事業を全会員に広報してきた。

昭和46年に始めた「文化財めぐり」「教育講演会」を各支部持ち回りで実施し、「囲碁の会」「パークゴルフ」等で会員の親睦を図り、理事研修として教育講演会・企業や施設の見学を実施している。令和6年10月20日に創立60周年記念式典と祝賀会を盛大に行った。



3 現状

本会は、本部を中心に県下8支部によって組織されている。本部の理事は、総務部・広報部・研究文化部・福利厚生部・組織部に所属し、各事業を分担して企画運営に当たり、各支部は、本部の事業に参加協力するとともに、支部独自の事業を企画し活発に活動している。

4 今後の課題

最大の課題は、会員数の減少である。急激な過疎化、少子化による学校の減少が退職校園長の減少に連動している。定年の段階的引き上げにより制限される若年会員の参画の方法、会員に教友会活動の意義を周知し、一体感をもって活動するため課題検討委員会を中心に「教友会活動の魅力化への対応」について検討している。